

男女共同参画情報紙

2004. 12. 1

5号



いさいき羽生。夢みる羽生。

# みらい

ひとひと  
女と男 ともに輝く社会をめざして

特集

ジェンダーってなあに？

～考えてみませんか、女らしさ、男らしさ～



# ジェンダーフリーに至る道

## ジェンダーフリー

最近、ジェンダーフリーという用語が、誤解や混乱を招いています。ここでは「男らしさ、女らしさという社会的・文化的につくられた性差をなくす」という意味で使用しています。

パパ、今回は歴史の勉強よ  
 まかせなさい 歴史は得意です

元始、女性は太陽の時代。すべては男女平等でした。

稲作が始まって社会に貧富の差が生じるとともに、男性優位の社会ができあがってきました。

そうは言っても、まだまだ子を産む女は強かった。

こりゃ～いくらなんでもひどい!! やっぱりおれってフェミニスト!

そうそう、教育の成果上がってる

男の子を産むことだけが私の仕事

## 貝原益軒著「女大学」

「父の家にありては父に従い、夫の家にゆきては夫に従い、夫死しては子に従うを三従という。身終るまで、わがままに事を行うべからず、必ず人に従いなすべし。」

パパ たまにはいいこと言うワ～

ぼくらが平和な日本を手に入れたかげには多くの犠牲があったこと忘れちゃだめサ～

当時22歳の米国人女性ベアテ・シロタ・ゴードン(日本国憲法の起草者の一人)が「男女平等」の規定を憲法に入れるよう強く働きかけました。

とはいっても、まだまだ男社会なのだ!

寿退社 おめでとう!

## 現代

1955年 若年定年制  
 女性は結婚したら退職する制度が普及していました。

## 1945年 日本国憲法

## 女性の選挙権獲得 男女同権・男女共学

がんばれ!  
 平塚らいてう・市川房江らによる女性の普通選挙運動。

男は仕事・女は家庭、性別役割分業すすむ。

明治民法は家父長制を確立した第14条では、妻は法律上無能力者と規定されていた。

やっと世界の流れに乗ってきたワ!!

## 1975年 国際婦人年

## 1985年 女子差別撤廃条約批准

## 1985年 男女雇用機会均等法

日本って遅れてたの?

法律はできたけどまだまだ問題はあつたよネ

男も育児休業を取れるとはいっても現実にはなあ...

## 1992年 育児休業法

## 1994年 男女共同参画推進始まる

1999年 男女共同参画基本法  
 DV、ストーカー、セクハラ

学校では男女混合名簿 家庭科男女共修

## 明治

男は質実剛健!

女は良妻賢母

わしも見てみたいもんじゃ ジェンダーフリーの時代 いや、うちのママで十分か.....

## 江戸

女は男に従って いればよいのじゃ!

やっばいいよナ～ 男は、おれについてこいって言ってみたい気持ち、どこかにあるんだよウーム

みらい4号まで何を学んできたのやら

## いよいよ、ジェンダーフリーの時代!!

## 羽生市では

1995年 女性政策係設置  
 1995年 女性会議設置  
 1999年 はにゅう男女共同参画プラン策定

でも、羽生市の女性市議は0人  
 2004年 全審議会に占める女性の割合は15.4%

まだまだだわこりゃ

# 学校のジェンダーフリー

ジェンダー（社会的性差）による「男らしさ・女らしさ」の押しつけや男女の違いの強調が子どもの自由な生き方を制限してきました。ジェンダーフリー教育は、全ての人を視野に入れた人権教育として行われています。今回は、市内の小中学校にアンケートを依頼し、それをもとに学校のジェンダーフリーの様子を見てみました。

## 家庭科男女共修

小学校の家庭科は、以前から男女とも共修でした。

ところが、中学校へ進むと女子は家庭科、男子は技術科と分けられ授業が行われてきました。

1985年に女子差別撤廃条約が批准されたのを機に「家庭科の男女共修」が始まりました。

現在は、中・高校とも共修となり、調理や木工など暮らしのさまざまなことを学んでいます。

男女とも一人ひとりが自立した生き方をするための教育が実践されています。



## 男女混合名簿の使用

数年前までは名簿の順番が男が先で女は後というのが当たり前でした。しかし、男女にとられず全ての子どもの個性を伸ばそうという考えから、男女混合名簿が導入されました。

羽生市の小中学校では、2002年度から全校で混合名簿を取り入れました。混合名簿は、ジェンダーフリーを実現するための大きな意識改革の一つとなります。先生が全ての子どもを「さん」付けで呼んでいることは、子どもたちにも良い影響を与えていくことでしょう。

## 国語教育でも……

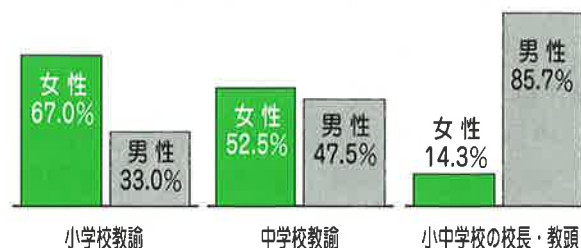
「女らしく」とか、「男らしく」とかじゃあなくて、なんかもっとすっきりした生き方ってないんだろうか？ そう、子供にだってプライドってものがあるんだから、そう思うのあたりまえなんだ。

ところで、そんなに大人がよくいう「女らしさ・男らしさ」って、ほんとのところなんなんだろう？ 実は、大人自身にもそれほどはっきりわかっていくわけじゃあなくて、「女はこういうことはするもんじゃあない。」「男ならこういうふうにするんだ。」っていうのが漠然と頭にあるらしいのね。それで、子供が自分の気にいらぬことをすると、「女の子のくせに」とか「男の子のくせに」とか言うってしかるんじゃないかしら。（中学一年国語教科書「ちよつと変じゃない」青木やよび著より抜粋）

## 市内教職員の男女比率

現状は下記のとおりです。まだまだ男性が中心を担うことが多いようですが、今後ジェンダーフリーが進むにつれ、女性の管理職も増えていくことが予測されます。

男女比率（2004.7羽生市）



ジェンダーとは…  
男らしさ、女らしさ  
という社会的・文化  
的につくられ性差

# GENDER CHECK!

## ジェンダーチェック

さて、あなたは？どちらかあてはまる方に✓を入れてください。

はい	いいえ	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	「男は仕事・女は家庭（家事・育児・介護）」だと思う。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	女性の幸せは結婚することだと思う。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	結婚したら男の姓を名乗るのがふつうだと思う。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	男性は洗濯や買い物をできればしない方がよいと思う。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	保護者の欄には自然に父親の名前を書いてしまう。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	女性に責任ある仕事は任せられないと思う。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	自治会やPTA等の会長は男性の方が良いと思う。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	お茶出しや接待・窓口業務は女性の方がいいと思う。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	女性がリーダーとして活躍している姿を見ると「女のくせに…」と思う。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	女性は仕事をしていても、家事・育児に手を抜いてはいけないと思う。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	女性は乱暴な言葉づかいをしてはいけないと思う。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	理科系は男性、文科系は女性に向いていると思う。

### 評価

- 「はい」が9～12  
性別にかなりこだわっていますね。時代に即した男女のあり方を考えてみましょう。
- 「はい」が5～8  
少し性別にこだわっていますね。ジェンダーについて、もう少し考えてみましょう。
- 「はい」が0～4  
性別にこだわらず柔軟な考え方をしていますね。男女共同参画社会のために、力を発揮してください。





## ひとひと 女と男の フォーラム

平成16年度の事業として、女と男のフォーラムが、6月28日（土）羽生市民プラザにおいて開催されました。

講師は、家族カウンセラーの宮本まき子さん。今どきの男女の結婚観や親子関係について、お話しいただきました。



松田敏子さん

## 男女共同参画セミナーの開催

11年間の専業主婦の後、39歳で東洋大学に社会人入学。家族社会学を専攻した松田さんから、これからの家族のあり方や夫婦の関係について、お話しいただきます。

皆さんお誘い合わせの上、ぜひ、ご参加ください。

期 日	時 間	会 場	内 容
1月20日（木）	午後2時	パープル羽生	これからの家族（1） ～昔と今、私らしく・あなたらしく～
1月27日（木）			これからの家族（2） ～高齢社会の生き方～

入 場 料 無 料

講 師 千葉県立衛生短期大学非常勤講師 松田敏子さん

託児あり 1歳6ヵ月～就学前の幼児

申込み・問合せ パープル羽生 ☎561-1681

### 編集後記

「みらい」創刊号から三年。我が家、我がまちの男女共同参画は進んでいるでしょうか。

今回は歴史の中のジェンダーを中心に「女と男」について考えてみました。

これからも、さまざまな分野でジェンダーフリーの歩みは続いていくと思います。頭と心をしなやかにして、まず家庭の中から第一歩を踏み出していけたらと願っています。

編集委員一同

男女の価値観やキャリアの違いなど、夫婦共作は大変でもあります。今回ふたりで楽しみながら表紙を描きました。

若菜ひとし・きよこ



発 行 羽生市企画財政部企画課 〒348-0053 羽生市南5-4-3（羽生市女性センター）  
☎048-561-1681 ☎048-562-1889  
企画・編集 羽生市男女共同参画情報紙編集委員 表紙 若菜ひとし・きよこ